



地域おこし協力隊第 2 号 藪本 翔太さん 桂島の「のり合同会社」に就職 浦戸桂島の住民となります 引き続き定住！



塩竈市では、浦戸諸島の桂島でのり養殖漁業に従事し、将来の漁業後継者、島づくりの担い手「地域おこし協力隊員」として平成 27 年 12 月から全国に公募しました。

平成 28 年 6 月に実施した第 3 回目の選考により、平成 28 年 8 月 1 日から地域おこし協力隊として桂島で活動してきた藪本翔太(やぶもと しょうた)さんが、桂島の「のり合同会社」に就職し、浦戸桂島の住民となりました。

育成講師の方々、のり合同会社、桂島区、復興支援員(一般社団法人 e-front)の皆様にご支援をいただきながら、桂島に新たな担い手が誕生しましたので、ご報告いたします。

1. 藪本さんのこれまでの活動内容

桂島ステイ・ステーションを拠点として、のり養殖に従事しながら、地域行事への参加・支援等を行ってまいりました。

2. これからの藪本さんの活動

のり合同会社に就職し、桂島に住むとともに、のり漁師として働き自立していきます。



3. 今後の塩竈市地域おこし協力隊について

【桂島】

平成 29 年 4 月から新たに二人の地域おこし協力隊が加わり、現在 2 名の情熱ある若者が、地域協力活動(のり養殖等)に従事しております。

【寒風沢】

平成 28 年度は自然災害の影響や、関係者間での調整が進まなかったことにより、受入体制を整えることができなかったことから、島の新たな担い手を受け入れる体制を地元の方と協議をして整え、募集活動を行えるよう進めております。

※地域おこし協力隊とは

○都市地域から過疎地域等に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱する。

○協力隊員は、一定期間、当該地域(浦戸ステイ・ステーション)に居住して、漁業等への従事や住民の生活支援等の「地域協力活動」を行いながら、当該地域への定住・定着を図る。

